

学校関係者評価報告書

御茶の水美術専門学校
学校関係者評価委員会

学校法人服部学園 御茶の水美術専門学校の令和元年度自己点検・自己評価の結果報告に基づいて学校関係者評価を実施しましたので、以下のとおり評価結果を報告いたします。

1. 開催日時

令和元年11月12日（火）14:00～16:00

令和2年 6月25日（木）10:00～12:00

2. 開催場所

学校法人服部学園 御茶の水美術専門学校 会議室

3. 学校関係者評価委員

委員長 堀田康彦（地域）

委員 渡部卓明（企業）、瀧澤奈美（企業）、長倉義信（公益法人）、田中康平（卒業生）

4. 議事経緯

学校側関係者より令和元年度上期（11/12委員会）および年間（6/25委員会）の自己点検・自己評価の実施結果について学校関係者評価委員会において説明・報告を行い、各委員から評価結果に対する評価コメントならびに改善に向けた意見・提言をいただいた。

5. 評価結果

(1)総括評価

学校側による304評価項目の自己点検結果は「○」が228項目（前年+26）となり、質の高い教育活動・学校運営等を遂行していることが確認された。ただし、一部項目に改善すべき課題もあるため、項目毎に策定した改善方策の確実な実行により、更なる質の向上を期待する。

(2)各委員の評価コメント

- ①一貫して学生との関わり方が明確であり、特にキャリア支援において学生一人ひとりの個性を把握して社会に送り出しているのは、他校にはない本校の特長である。
- ②本校は全員PCを購入させていち早くオンライン授業を本格開始させるなど、ITインフラ整備が進んでいることが強みであり、その強みを今後更に発揮するよう期待したい。
- ③留学生に対して日本文化についての指導をしているのは良い取り組みである。日本文化をわかりやすく紐解いたものを教育することは、日本の学生たちにも役に立つと思う。
- ④SDGsが想像以上に早く授業に取り込まれていることが確認できた。高校でのSDGsの認知度も上がってきているので、今後も引き続きSDGsに取り組むことを期待する。
- ⑤一般企業の方はデザインのことがよくわからないので、本校の創造性教育のことをもっと企業にアピールし、より知ってもらう活動を積極的にすすめてほしい。
- ⑥本校は幅広い教育活動を積極的に推進しているが、教職員の働き方改革も重要な課題であり、教職員の過重な心身面の負担などに十分留意して対応してほしい。

以上